

うじたわら 議会だより

No 126
2026.2.1

祝 二十歳のつどい



物価高騰対策補正予算等可決 12月定例会……P2～P5

町政を問う（一般質問）

中学生議会

インタビュー（齋藤宗矩さん）

P6～P10

P12～P14

P15

=二十歳の集い=
新春の良き日 新しい門出
どの瞳も希望に輝いて

11月臨時会
12月定例会

物価高騰対策補正予算など可決

令和7年第1回臨時会は、11月14日に開催し、人事案件1件（教育委員の任命）があり、全会一致で同意した。

また、第4回定例会を12月3日から17日まで

開催し、予算関係5件、条例関係7件、一般議案2件について提案があり、原案どおり可決した。

一般質問には8人が立ち、活発な議論を展開した。

人事案件

○教育委員の任命同意
はり 播 磨 幸 博 氏
(緑苑坂)

任期
令和7年11月26日～
令和11年11月25日

予 算 特 別 委 員 会

予算特別委員会は、12月12日に開催し、委員長に谷口茂弘議員、副委員長に堀口宏隆議員を選任し、令和7年度補正予算（5件）、予算関係条例（4件）を審査した。

一般会計補正予算（第3号）（議案第58号）

給与改定や人事異動に伴う職員人件費補正や物価高対応子育て応援手当支給事業費、水道基本料金減免に係る水道事業会計負担金、小中学校給食費支援事業費などを追加する

まだ生まれていない新生児への支給の手続きは
問 物価高対応子育て応援手当支給事業費では、令和7年10月1日以降から令和8年3月31日までに生まれる新生児を含むとされているが、まだ生まれていない新生児への支給の手続きは

答 出生届を提出された際に児童手当の手続きもされるため、本手当の申請もあわせて行っていきたいと考えている。

制度の周知の方法は

問 水道事業会計負担金（物価高騰対策水道料金減免事業）は、色々な年齢層の方がおられる中、広く給付するといった観点から水道料金の基本料金の減免は大変望ましい。制度の周知の方法については。

答 これまでと同様に広報紙やホームページへの掲載、新たにチラシを作成し広報紙への折込、更には検針票のコメント欄に記載するが、加えて新たな周知媒体の追加を検討している。

反対討論

特別職・議員の期末手当引き上げは見送るべき 今西利行議員

国の交付金を活用し、学校給食費の無償化、水道基本料金の減免等については評価するが、特別職、町議会議員の期末手当引き上げについては見送るべきである。

職員の給与に関する条例及び一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部改正（議案第63号）

給与表及び期末勤勉手当の引き上げ等

通勤手当の引き上げは矛盾するのでは

問 通勤手当について国の基準に基づく改定であることは理解できるが、今年ガソリンの暫定税率が廃止され、ガソリン価格の値下がりが期待される中、通勤手当の引き上げは矛盾するのでは。

答 町では人事院勧告の準拠を基本としており、民間

の支給状況等を踏まえた人事院勧告に基づく、一般職の国家公務員の給与改定に準じた改正を行おうとするものである。

水道基本料金減免や小中学校給食支援事業など

の支給状況等を踏まえた人事院勧告に基づく、一般職の国家公務員の給与改定に準じた改正を行おうとするものである。

特別職の給与に関する条例の一部改正（議案第64号）

町長等特別職の期末手当を0.05月引き上げる

期末手当の引き上げは見送るべきでは

問 物価高騰が続く中、賃金が上がらず多くの住民は経済的に苦しい状況に追い込まれている。さらに本町の財政状況も非常に厳しい状況が続く中、今回の期末手当の引き上げは見送るべきではないか。

答 基本的には人事院勧告に基づくもので、特別職の国家公務員に準拠した改定をこれまでからも行っており、今回の改定も同様である。

反対討論

物価高の中、住民の理解が得られない 今西利行議員

日本銀行の「生活意識調査」では、現在の暮らし向きについて「ゆとりがなくなってきた」が56.1%。実質賃金は10ヶ月連続のマイナスで、物価高に賃上げが追いついていない中、特別職の期末手当引き上げは、住民の理解が得られず、見送るべきである。

議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部改正（議案第65号）

議員の期末手当を0.05月引き上げる

反対討論

期末手当引き上げに反対

今西利行議員

住民の暮らしが深刻な中、町議会議員の期末手当を引き上げることについては反対である。

総務建設常任委員会

12月10日、付託議案2件を審査した。また、企画財政課及びまちづくり推進課より所管事項報告があった。

城南衛生管理組合の共同処理する事務及び規約の一部変更（議案第57号）

城南衛生管理組合の構成市町以外の地方公共団体から委託処理を受けるため、組合規約を変更する

本町のメリットは

問 乙訓環境衛生組合からのし尿及び浄化槽汚泥を受け入れるということであるが、城南衛生管理組合の三市三町にはどのようなメリットがあるのか。

答 乙訓環境衛生組合からの委託料として城南衛生管理組合への収入になるため、この収入に本町の搬入割合を乗じた額が、本町が支払う分担金から差し引かれることになるといったメリットが生じる。



汚水処理施設

〈報告事項〉

企画財政課

- ・第1回ふるさと納税未来創造アワード

まちづくり推進課

- ・第1回宇治田原町空家等対策協議会の開催結果

文教厚生常任委員会

12月11日、付託議案3件を審査した。また、福祉課及び学校教育課より所管事項報告があった。

乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定（議案第53号）

乳幼児等通園支援（こども誰でも通園制度）の実施にあたり、国が定める基準を踏まえ本町の設備及び運営に関する基準を定める

一時保育事業と子ども誰でも通園制度との違いは

問 一時保育事業と子ども誰でも通園制度との違いは。

答 一時保育事業は保護者の立場からの必要性に対応するものであり、子ども誰でも通園制度は、家庭にいるだけでは得ることができない様々な経験を通じて子どもが成長していくように子どもの育ちを応援すること、また、保護者の孤立感、不安感の解消につなげることを目的にしており、目的が明確に異なる。

問 利用可能時間が子ども一人あたり月10時間までとされているが、あまりにも時間が短いのでは。

答 国の方で、保育士人材の確保が課題となっている現状等を踏まえ、対象となる全ての子どもが等しく利用できる制度とするため、月10時間を上限とする方向となっている。今後も国の動向をしっかりと把握し、適切に対応していきたい。



町立保育所

行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部改正（議案第54号）

行政手続における特定の個人を識別するための番号利用等に関する法律第9条の第2項の条例で定める事務の追加による改正

受給者証があれば現物給付を受けることはできないか

問 受給者証さえあれば、マイナンバーカードがなくても自立支援医療の現物給付を受けることはできないのか。

答 自立支援医療の現物給付を受けるには、紙でできた受給者証とマイナンバーカードの二つの提示が医療機関の窓口で必要になるが、オンライン資格確認ができるようになれば、紙の受給者証を提示する必要がなくなる。

反対討論

マイナンバー制度は見直すべき

山本精議員

医療費助成のオンライン資格確認を、障害者福祉サービス等利用支援医療費の支給について、独自利用事務に追加するものだが、マイナンバー制度は、プライバシー侵害や漏洩の懸念があり、見直すべき立場から反対である。

<報告事項>

福祉課

- ・民生児童委員協議会の体制

学校教育課

- ・町教育委員会事務事業点検・評価報告書

議決のあらましと表決結果

[○賛成・●反対・▲退席・一欠席・△除斥]

種別	議案番号	議案名と内容	賛成討論	反対討論	結果	谷口	光島	堀口	山本	今西	浅田賢	上野	山内	藤本	田中
予算	議案第52号	宇治田原町教育委員会委員の任命について (播磨幸博氏)			同意	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第58号	令和7年度宇治田原町一般会計補正予算（第3号） (人事異動等に伴う職員人件費及び物価高対応子育て応援手当支給事業費等の補正) 【7,107万5千円の追加】	✓		可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	議案第59号	令和7年度宇治田原町国民健康保険特別会計（事業勘定）補正予算（第1号） (人事異動等に伴う職員人件費の補正) 【410万5千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第60号	令和7年度宇治田原町介護保険特別会計補正予算（第2号） (人事異動等に伴う職員人件費の補正) 【保険事業 269万9千円の追加】 【サービス事業 6万8千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第61号	令和7年度宇治田原町水道事業会計補正予算（第1号） (人事異動等に伴う職員人件費の補正) 【収益的支出 458万3千円の追加】 【資本的支出 71万2千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第62号	令和7年度宇治田原町下水道事業会計補正予算（第1号） (人事異動等に伴う職員人件費の補正) 【収益的支出 95万7千円の追加】 【資本的支出 134万3千円の追加】			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第53号	宇治田原町乳児等通園支援事業の設備及び運営に関する基準を定める条例を制定するについて (児童福祉法の改正に伴い乳児等通園支援事業の実施のため、設備及び運営に関する基準を制定)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第54号	宇治田原町行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報の提供に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (番号法の独自利用事務の追加に伴う条例の一部改正)	✓		可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	議案第55号	宇治田原町水道事業給水条例及び宇治田原町公共下水道条例の一部を改正する条例を制定するについて (災害その他非常時において、他の市町村長の指定を受けた者が給水装置等及び排水設備等の工事を行うことができるようする条例の一部改正)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第63号	宇治田原町職員の給与に関する条例及び宇治田原町一般職の任期付職員の採用等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (人事院勧告に基づく期末・勤勉手当の改正等、4.60月→4.65月等)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
条例改正	議案第64号	特別職の職員で常勤のものの給与に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (人事院勧告に基づく期末手当の改正、3.45月→3.50月)	✓		可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	議案第65号	宇治田原町議会の議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (人事院勧告に基づく期末手当の改正、3.45月→3.50月)	✓		可決	○	○	○	●	●	○	○	○	○	○
	議案第66号	宇治田原町会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例を制定するについて (人事院勧告に基づく期末・勤勉手当の改正等、4.60月→4.65月)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	議案第56号	財産の取得について (連続式小型電気フライヤー及び食油濾過機の取得)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
その他	議案第57号	城南衛生管理組合の共同処理する事務及び規約の一部変更について (城南衛生管理組合の構成市町以外の地方公共団体から委託処理を受けるため、組合規約の一部変更)			可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

*原田議長は賛否同数以外は表決に加わりません

一般質問

12月8日

町政を問う

一般質問とは、議員が行政全般にわたって執行機関である町に対し、事務の執行状況や方針などを質問します。



議会公式
Youtubeチャンネル



	質問者	質問事項
1	今西利行 (P7)	1. 町長の政治姿勢 2. 地域公共交通 *3. 介護保険 *
2	山内実貴子 (P7)	1. 防災対策 2. まちの環境美化
3	上野雅央 (P8)	1. 鷲峰山トンネル開通の影響と期待 2. 熊への対策
4	田中大典 (P8)	1. 100 年先の宇治田原

	質問者	質問事項
5	光島善正 (P9)	1. ふるさと納税 2. 「宇治田原町お茶の未来 EXPO」を契機とした観光振興と地域活性化
6	堀口宏隆 (P9)	1. 義務教育施設
7	山本 精 (P10)	1. 交通安全対策
8	谷口茂弘 (P10)	1. コンビニへの AED 設置 2. 総合防災訓練

*印の質問事項は本紙には掲載しておりません。詳しくは録画による動画配信をご覧ください。

傍聴のご案内

宇治田原町議会を傍聴しませんか。傍聴券は本会議・委員会当日に町役場 3 階議会事務局で発行致します。議会の日程などはホームページ (<http://www.town.ujitawara.kyoto.jp>) をご覧いただき、議会事務局 (☎ 88 - 6641) までお問い合わせください。



議会の日程は
こちらから

なぜ懇談しないのか

中立公平性を堅守する必要がある



いまにしとしうき
今西利行議員

問 9月議会で町長は、「政治的な主張が強い団体との懇談は断っている」と答弁されたが、その理由は。

答 (町長)

町政運営については、行政の中立性と公平性を堅守し、住民全体の利益を最優先に行う必要があるため、政治的な主張の強い団体からの懇談要請については、お断りしている。

問 まちづくりを常に住民利益を最優先に考えて、防災や公共交通の問題などで住民の声を集め、町への申し入れや担当課との懇談などを行ってきた

「まちづくりとともに考える会」を、「政治的主張が強い団体」と決めつけ、懇談すればまるで行政の中立性・公平性、住民全体の利益を損なうかのような答弁は、あまりに失礼であり、遺憾。「懇談しない」ということが、逆に中立性・公平性に逆行するのでは。

答 (町長)

政治的主張が強い特定団体との懇談は、「不公平な情報収集・反映」につながり、偏りのある声だけがクローズアップされ、政策決定過程の透明性と説明責任を損なう恐れがある。



以前に町と懇談する
「まちづくりとともに考える会」



やまうちみきこ
山内実貴子議員

自主防災訓練充実へサポートは

より一層、連携を強化していく

問 災害に対応できるよう、今後も繰り返し訓練の機会として町総合防災訓練とともに、自助・共助の強化を図ることも大切である。そのための自主防災会の訓練をより充実して行えるようサポートすることについては。

答 (総務理事)

各地域の自主防災会が主体となって訓練を実施することは大変重要だと感じている。総合防災訓練の開催にこだわらず、地域住民のためになるような訓練が展開できるよう自主防災会とより一層、連携を強化していく。

町の美化活動について懇談会は

問 町の美化活動について、以前行ったように懇談会を行ってはどうか。清掃ボランティアの皆さんへの励ましと今後の活動について意見交換の場としては。

答 (建設環境課長)

まちをきれいにする推進委員の委嘱に合わせ、懇談会を開催したい。交流を深めていただき、意見交換を経て活動継続のモチベーションアップなどの場としたい。



今年度、町防災訓練の様子

鷺峰山トンネル開通効果は 地域交流圏域を発展させる

うえ の まさ お
上野雅央議員

問 鶺峰山トンネル開通後の交通量や人の流れの変化、経済・交流面の評価、和束町との連携の見通しは。

答 (産業観光課長)

開通後は買い物・通勤など日常利用の往来が増え、広域的な回遊の芽が育ちつつある。今後は新名神 IC や「城陽井手木津川バイパス」など道路網の整備が進むことで、商圈の広がりは奈良・三重方面まで及ぶと分析している。また、和束町とは共同 PR やイベント展開など広域的な連携を進め、地域間交流の深化を図っていく。

熊への対策は

問 熊の出没増加への危機感、住民への注意喚起、緊急銃猟制度への対応状況は。

答 (産業観光課長)

近隣市町での目撃情報は町 HP 等で速やかに共有し、町内での通報時には場所・時刻・画像の有無を確認の上、猟友会と連携して痕跡調査を行っている。住民には「誘因源対策」を周知し、学校・関係機関とも連携強化を進めていく。緊急銃猟については、府マニュアルに沿い、体制を整備中である。



期待と希望への鷺峰山トンネル

100年先の宇治田原は 住み続けられる町として残したい

た なかひろのり
田中大典議員

問 本年発表された路線価で本町の工業地は 10 パーセント以上上昇し、企業の注目も高まっている。産業振興や雇用創出など、今後の開発の方向性は。

答 (町長)

「稼げる自治体」への転換が不可欠と考える。今ある特産物の高収益化や販路拡大など様々な角度から取り組み、地元で働く選択肢を増やし、新たな人を呼び込み、関係人口の創出や地域経済の活性化につなげたい。

問 工業地の地価が上昇する一方、耕作放棄地や放置竹林など、未利用地も

増えている。未利用地の保全や活用は。

答 (町長)

農林業が生業として成立することが重要と考える。

問 100 年先に宇治田原を繋げるためには現世代の責任ある選択が必要と考える。開発と保全のバランスは。

答 (町長)

過去から引き継いだ地域資源を活用しながら、小さな町だからこそできる取り組みを重ね「いいとこどりの田舎町」の強みを発信しながら、自立的発展を志向するまちづくりを進めたい。



宇治田原の風物詩「柿屋」



開通時期が見通せない新名神高速道路

ふるさと納税制度改正の影響は 協力事業者とともにに対応を図る

みつしまよしまさ
光島善正議員

問 10 月からふるさと納税制度が改正された。宇治田原町のふるさと納税にどんな影響が生じ、それにどう対応するのか。

答 (企画財政課長)

駆け込み需要が 9 月にあり年末に寄附額が減少、また付加価値基準の見直しで出品できなくなる返礼品も出ると見込まれる。クラウドファンディングによる支援制度を活用した地域性の高い返礼品開発やブランド力向上による返礼品の高付加価値化などを協力事業者とともに実行していく。

宇治田原町お茶の未来EXPOの成果は

問 西ノ山展望広場で開催した『宇治田原町お茶の未来 EXPO』の成果は、またそれをいかに将来につなげるのか。

答 (産業観光課長)

当該イベントは雨にも関わらず 100 名の来場者がお茶を楽しんだ。主催の地域おこし協力隊の自信にもなり、ライブでは新人材の発掘などの成果があった。イベントの成果をふまえこれからは民間事業者・団体や地域を主体としたイベントを検討していく。



お茶の未来 EXPO 風景

教育施設について町として考えは 検討を行っている

ほりぐちひろたか
堀口宏隆議員

問 町の規模、学校のクラス編成、経常的な管理経費などを考えた時、より良き方策を出す必要があると思う。教育施設の整備についてどのように考えているのか。

答 (教育次長)

施設の規模と実際の児童数の乖離が生じるとともに、空き教室も増えてきている。公共施設は保有するだけでも維持管理に大きなコストがかかり、その中でも学校施設は町全体が保有する施設の 1/3 を占め、町財政へも大きな影響を及ぼしている。両小学校の施

設の在り方については、喫緊の課題であると認識している。

問 喫緊の課題と言うのであれば、少なくとも方向性の議論付けがなされ、マスター プランくらいは持ち合わせないと、今後の施策展開が論じられないが、その点についてはどのように考えているのか。

答 (教育長)

現下の状況にあってはいつ何をするといった事業計画を明確にしなければならないが、そういうことを進める考えはあるのか。

答 (教育長)

検討を行っているところ。



大規模改修の時期が到来している両小学校

交通安全対策は

交通マナーを徹底する

問 現在、郷之口湯屋谷線は、通勤の方々の国道307号の渋滞回避のための抜け道として多くが通過されている。調査したところ、7時から8時で246台の通過がある。生活道路であり、小学生の通学時間と重なっている。以前からスピードの抑制や抜け道としての利用自粛などを依頼して、安心安全な生活道路をと訴えているが。

答 (総務理事)

町としては、特に交通安全対策が重要な路線の一つであると認識している。

今まで定期的な啓発活動や啓発看板の設置、交通マナーの向上を図る取り組みなどを行ってきている。

問 住民の方々はスピードの抑制の最高速度制限を時速30キロメートルになるよう望んでいるが。

答 (総務理事)

過去に町から府公安委員会に要望を行ったが、府警本部規制課から物理的にスピードが出せない施工が必要との回答があり、速度規制は困難と判断された。交通マナーの徹底について、啓発する。



30キロ速度規制を望む看板

町内のコンビニにAEDを

設置に向けて取り組む

問 心肺停止後、AED使用の有無と使用までの時間で存命率が大きく変わる。24時間営業のコンビニにAEDがあれば早く対応でき、城陽市などでも設置済。本町内コンビニにも設置を。

答 (総務理事)

コンビニ店舗と再度協議し、設置に向けて取り組む。

問 AEDの設置場所を示すマップも正しく更新すべきでは。

答 (総務政策監)

AEDマップの更新に努め、コンビニに設置できた際には広く周知する。

町総合防災訓練は

問 訓練は実際の災害発生を想定して行うべきではないか。また、どうなったときにどうするかを、自分で考え、家族で話し合う「マイタイムライン」の作成を促すべきではないか。

答 (総務政策監)

防災訓練は、関係機関と共により良い訓練実施に努める。マイタイムラインの作成は、災害発生時に慌てず行動できるよう防災マップに記載し、啓発してきたが、さらなる周知啓発に取り組む。



コンビニのAED(城陽市内)



やまもと ただし
山本 精議員

総務建設常任委員会

10月22日、各課の第3四半期の事業執行状況と報告事項3件があった。主な質疑は下記の通り。

〈事業執行状況〉

総務課

防災対応力強化は

問 パーティションテントとダンボールベットはどこに配置されていて、国際基準をみたしているか。

答 各160を購入、宇治田原小学校、田原小学校、維孝館中学校、住民体育館に各35ずつ、奥山田のふれあい交流館に20納入する。京都府の公的備蓄の考え方をみたす基準に従っている。



配備された防災用品

企画財政課

ふるさと納税の現況は

問 新規返礼品で増えたものはあるか。

答 10から20種類増加した。

問 9月末現在の寄付金額は昨年と比較してどうか。

答 昨年度より若干の増である。

まちづくり推進課

空き家除去の進捗状況は

問 管理不全空き家除去の対策は。

答 相談に寄り添いながら課題解決に向けての伴走支援を進めている。

〈報告事項〉

総務課

- 令和7年度宇治田原町総合防災訓練

税住民課

- 令和7年度人口動態集計(上半期)

まちづくり推進課

- 第14回宇治田原町地域公共交通活性化協議会の開催結果

文教厚生常任委員会

10月23日、各課の第3四半期の事業執行状況と報告事項1件があった。主な質疑は下記の通り。

〈事業執行状況〉

健康対策課

介護予防のハイリスクアプローチは

問 進行状況や、何人くらいが対象か。

答 健康状態不明者と低栄養者への電話指導を行っている。今年度は健康状態不明者約20名に対して、10名弱に面談を実施。低栄養者約30名に対して、15名程度指導している。

子育て支援課

職員研修は

問 遊具の職員研修はどのようなものか。

答 子どもたちが意欲的に遊べるよう、職員が褒めて意欲を高める指導方法を学んでいる。

子ども・子育て家庭センターは

問 開設から間もないが、相談される方は何人あるか。

答 ホットラインの電話では相談なし、来庁では1件あった。

学校教育課

中学校体育館空調設備等整備事業は

問 工事中、体育館が使えない場合の配慮は。

答 学校の活動に十分配慮するが、住民体育館の使用もやむを得ない。負担が最低限になるよう十分協議したい。

学校給食共同調理場は

問 プロポーザルで選定された業者が遠方であるが、この辺りで事業をしている実績はあるか。

答 共同調理場としての実績は長岡京市、亀岡市、宮津市、栗東市、東近江市。自校式としては京都市、宇治市、大山崎町、綾部市で実績があり、全国的に実績のある会社である。

問 この業者になった決め手は。

答 最高得点であったことは当然だが、8項目のうち6項目が最高点で残りの2項目は次点であった。町の審査委員としては人員確保の点でアドバンテージがあった。

〈報告事項〉

令和7年度寺子屋「うじたわら学び塾」夏季実施状況

議会運営委員会主催 中学生議会

令和7年12月19日、中学生議会を議場にて開催しました。目的は、まちづくり授業を経験する予定の維孝館中学校の生徒（3年生）

クラスごとに「議員」12人と「傍聴者」を決め、2回の中学生議会を開催しました。

中学生議会を開催するにあたり、令和7年11月28日に維孝館中学校で、「町議会のあらまし」を学ぶ委員長及び副委員長による出前講座を開催しました。



委員長、副委員長による出前講座

一般質問については、2クラスで10人の中学生議員が質問を行い、町議会議員が答弁に立ちました。

質問内容は、今後の議会へ生かしたいと考えます。

〈質問と答弁の抜粋は次のとおり〉

問 宇治田原町にもショッピングモールやマクドナルドなどのチェーン店を誘致できないか。

答 商業施設の誘致は行政だけでは判断できないが、本町からほど近い場所に大型アウトレットモールの建設が予定されており、人の流れが活発化し、飲食等のチェーン店が増えることも考えられます。今後は町の魅力発信と多様な誘致により、活発なまちづくりを進めてまいります。



質問する中学生（3年1組）

が議場を見学し、議員となって質問を行うことにより、地方自治の仕組みを理解し、町のまちづくりを考える場とするものです。

問 土日のバスの本数を増やせないか。バスが運行していない地域にバスの運行はできないか。

答 本町では、町内外を結ぶ路線バスに加え、地域の実情に応じた町営バスを運行し利便性向上に努めています。一方、運転士不足や利用者減少もあり運行維持は厳しい状況です。町としても補助支援を行い、今後も重要課題として持続可能な交通環境の検討を進めています。



質問する中学生（3年1組）

問 景観や自然を保全するために、ポイ捨て等のゴミ問題対策はできないか。

答 民家の少ない道路沿いや河川への空き缶やペットボトル、タバコの吸い殻などが捨てられている事実は把握しております。町としては、ボランティアの清掃団体や各区ごとのクリーンキャンペーンなどと協力し、ゴミ回収に取り組んでおります。この問題を解決するには、捨てる側のモラルの改善が必須であると考え今後も啓発活動に取り組んでまいります。

問 観光客を増やす取り組みをもっと考えられないか。

答 本町は「観光」を交流人口増加の手段として、にぎわい創出と定住促進を目指して「宇治田原観光振興計画～観光によるまちづくり」を策定しました。田原川の桜や、ホタル、伊賀越えの道などの、歴史資源、茶文化を生かし、訪れる人も住む人も笑顔になれるまちづくりを進めております。

問 「人の優しさ」という強みを活かしたイベント等の取り組みはできないか。

答 「人の優しさ」とは数値で測れるものではないが、本町の魅力を語る上で非常に大切な視点です。本町には「こどもマルシェ」があり、これは「お店をやりたい」という我が子の願いを叶えたい、ご両親の優しさがきっかけで始まりました。こどもが店主となり、それを支える保護者、地域のお客様、まさに人のつながりの強さと優しさあふれるイベントが行われています。また行事等の情報発信の方法につきましては、今後も検討してまいります。

問 宇治田原町の「星」を生かしたイベントをできないか。

答 宇治田原町は、星がきれいなまちとしてPRできる強みが大きいにあると考えます。西ノ山展望広場や中央公園では、星ソムリエ京都・星空案内人の方々による天体観測や観測会を開催し町内外から来場いただいであります。今後も魅力発信に努めてまいります。

問 バスの本数を増やせないか。

答 本町には鉄軌道がなく路線バスは重要な公共交通機関です。しかし利用者の減少や運転士不足により増便は厳しい状況ですが、多くの方に利用いただくことが路線の維持にもつながります。今後もより良き方向に進むように努めてまいりますので、ご理解とご協力ををお願いいたします。

問 お花見の季節に売店を出したり、イベントをしたりすることはできないのか。

答 宇治田原町の桜は大変美しく、大切な魅力の一つです。本町では毎年「地域が元気！福祉まつり」が開催されております。今後も町の魅力がもっと伝わる、さまざまなイベントの開催も検討します。

問 野生動物が多くて、登下校などが不安です。最近、近隣の市町で熊の出没も相次いでいる中で、普段の生活でも野生生物の危険があるので、対策を検討してもらいたい。

答 本町で熊の目撃情報があれば、足跡などを確認し熊と認められれば、住民の皆さまや学校・保育所などに連絡を行い、パトロールを強化し、注意喚起を行っております。野猿に対しては、モンキードックなどを活用し、発信機の位置情報を町のホームページに掲載

しており、チラシなども配布し自己防除意識を高めてもらうよう努めています。



質問する中学生（3年2組）

問 給食センターの運営にふるさと納税の財源を活用できないか。

答 本町では、調理員不足による給食運営の安定化と質の維持を目的に、来年度から調理業務を民間委託します。また、給食費は食材費のみが保護者負担で、運営費等は町が負担しております。今年度は1学期と3学期の給食費は町が全額負担しており、今後も安心・安全な学校給食の安定提供と子育て支援に努めます。



質問する中学生（3年2組）

一般質問の後、町名を「ハート♡フルタウン宇治田原町」にする仮想議案が提出され、提案説明後、中学生議員には、採決を体験していただきました。



電子表決システムで採決する中学生

中学生議会アンケート結果

中学生議会終了後に中学生にアンケートを行いました。アンケートの主な結果について、

下記のとおり。アンケート結果は、次号（第127号）にも掲載を予定しています。

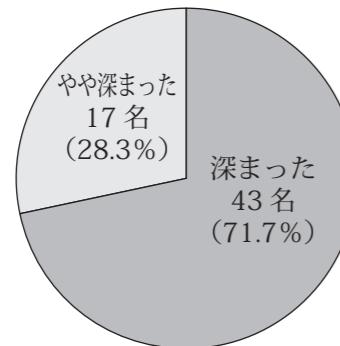
問 中学生議会に参加して、町政や議会についての理解は深まりましたか。

深まった
43名 (71.7%)

やや深まったく
17名 (28.3%)

あまり深まらなかった
0名 (0%)

合計 60名



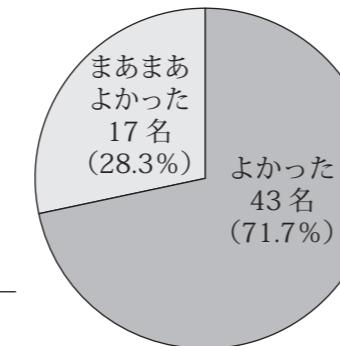
問 議会出前講座の感想はどうでしたか。

よかった
43名 (71.7%)

まあまあよかった
17名 (28.3%)

あまりよくなかった
0名 (0%)

合計 60名



問 中学生議会に参加した感想（自由記述）

※「掲載してもよい」との承諾を得たものを基本的に原文のまま掲載しています。

今日は、短い時間でしたが、貴重な体験をさせていただきありがとうございました。今日の授業を通して、より町議会に対する理解が深まった気がしました。自分も将来町議会議員になってみたいと思ったので、とても良い経験になったと感じています。未来の宇治田原町の姿があの場所で決まっていると思うと、とてもわくわくしました。

見ていただけだけど、貴重な体験ができる良かったです。何かを決めるためには、宇治田原のことよく調べて、考えなければいけなくて、議員さんは大変なのだと知りました。あの議会で私たちの町が決められ作られていて、こうやって快適に過ごせているので感謝したいと思います。

初めてあの場所を見て、そこで緊張感がよくわかった。そして、ボタンを押して賛成と反対を決めるのが面白かった。町議員にはなりたくないけど、なった人には頑張って欲しい。

とにかく緊張しました。「議長！」と呼ぶこと、自分の意見を言うこと、議員さん達は、私たちに比べると一つ一つが全く違い、声の出し方や話し方がしっかりしていて本当に尊敬します。貴重な体験ができる本当に良かったし、政治についてさらに学んで知識を深めていきたいと思います。

議会がどのように行われているのかよく分かりました。議会を行う部屋や知らない所も見せてもらえてよかったです。議会の進め方や、質問に対しての答弁など、とても勉強になりました。バスの本数を増やせない理由などの一つ一つの答弁も納得できました。部屋の中に話している人を映すモニターがあるのに驚きました。答弁してくださった方達が普段は質問する側という話を聞いて、宇治田原町をより良くするために頑張ってくださっているのだなと思いました。部屋に入る前にみんなが一礼をしているのを見て、敬意のようなものを感じました。実際に見たり、聞いたりできて、とても良い経験になりました。

自分があまり体験することがない事を沢山体験出来てとても新鮮だった。しかも前で話すというなかなか体験出来ない事もやれたので、とてもうれしかった。将来に役立てていきたい。自分が普段見ることがない所や雰囲気なども感じられて、とても新鮮で楽しかった。

質問に対して答える人の答え方が反対することだけを言うのではなく、その案に対して良い案だと肯定してくれているのが分かりました。また、質問の内容についての意見もその場で考えるのではなく、事前に考えて伝えているのがわかりました。初めて議場に入つてみて、まず、最初に礼をしてから入らないといけないのがわかりました。すごいと思ったのが、部屋の構造で段差を少なくして災害が起ったときに避難できるようになっていたことです。

インタビュー

二十歳のつどい代表

さいとう むねのり
齋藤 宗矩さん

二十歳のつどい実行委員長の齋藤宗矩さんに
インタビューしました。



インタビュー

Q. 二十歳を迎えた実感と、今取り組んでいることは

A. 成人として自分の行動に責任を持ち、芯のある人間でありたいと気を引き締めています。大学でロボットの研究に取り組み、企業との共同開発や宇宙スタートアップと学生を繋ぐイベント運営に関わってきました。現在はヒューマノイド（人型）ロボットの開発に注力しています。

Q. 久々に友人に会った感想は

A. 地元に残っている友人ほど、昔と変わらない安心感があります。お互いの近況を報告し合う中、新しい刺激がもらえる交流ができることが嬉しいです。



二十歳のつどい実行委員の皆さん

Q. 大切にしている言葉や思いは

A. 「とにかく挑戦する」です。失敗を恐れて動かないのではなく、まずはやってみる。成功すれば自信になり、失敗すれば貴重な学びになります。周囲の助けを借りることを恐れず、果敢に挑戦し続けることが大切だと信じています。

Q. 将来の目標、10年後はどんな自分を想像するか

A. 日本の労働力不足を解決するロボットエンジニアになることが目標です。画面内にとどまるAIだけでなく、物理的に人を助けるヒューマノイドを自分の手で生み出し、社会のニーズに応えたいです。

Q. これからの宇治田原に期待することは

A. 若い世代が培った技術や視点を、いつか何らかの形で町に還元できるような、風通しの良い繋がりが続くことを期待しています。

まちかど点景

議員がまちの風景をカメラにおさめました



二十歳の思いを1文字に込めて



無病息災を願って（岩山地区のどんど）



出初式 虹色放水



あそびの広場（手型足型アート）

令和7年11月1日、浅田晃弘
前議長がご逝去されました。

謹んでお悔み申し上げますとともに、心よりご冥福をお祈りいたします。

編集後記

今や、恒例となった中学生議会。班での討議を経て、宇治田原町について、様々な観点から質問が行われました。どの質問も宇治田原町をどうすれば住みよい町にできるのか、真剣な考えが述べられました。また、仮想議案「町名をハート♡フルタウン宇治田原町にする」についての採決が行われ、1組と2組で、賛成、反対に分かれました。自分の意見をしっかりと持ち、採決に臨んだ中学生に、改めて考え方をさせられました。

広報編集委員 今西

次回議会の予定

〈3月定例会〉

3月3日火開会日

詳しい予定はHPにて
お知らせします。